

# 地図と測量の公開講座

## 「水路測量の変遷と最近の調査」

水路測量とは、主に海図等を作製するために行われる「水域」の測量のことをいいます。

江戸時代末期の黒船来航、長崎海軍伝習所の設置、咸臨丸の太平洋横断などの歴史的出来事は、海図の必要性の認知や西洋の測量技術を取り入れた日本の水路測量の黎明期の出来事でもあり、明治4年に水路測量と海図を作製する機関が日本に設置され、新しい技術を取り入れながら現在に至っています。

水路測量の黎明期からの水路測量技術の変遷について、技術が大きく変化した内容と時代背景を交えながらお話しし、最近の水路測量での調査や活用事例などについて紹介します。

■ 日時 令和6年2月7日(水) 16:00～17:30

※講演:16:00～17:00／質疑応答:17:00～17:30

■ 会場 (公社)日本測量協会 研修室(東京都文京区小石川一丁目5番1号)

■ 講師 森 弘和 氏 海上保安庁 海洋情報部

参加費 無料

CPDポイント 測量CPD1ポイント

定員20名

申込み方法

[こちらをクリックして、受付システムによりお申込みください](#)

申込み〆切日 1月24日(水)

(定員になり次第締め切らせていただきます)

お問い合わせ メール: [open-ic@jsurvey.jp](mailto:open-ic@jsurvey.jp)

Tel:03-5684-3357 (担当:遠藤 拓郎)